

愛媛縣内 國道二十四號路線改良工事

内務省神戸土木出張所
愛媛國道改良事務所

内務技師 羽賀正義

—承 前—

三、昭和11年度改良工事

(1) 改良計畫

(イ) 改良區間 起點 松山市新立町一丁目
終點 松山市鮎屋町

(ロ) 改良路線

該區間舊道は、唐人町、大街道等商店街を迂餘曲折し、巾員著しく狹隘なるのみならず小屈曲、急勾配多くして交通上危険支障夥しきを以て改良に當りては現國道路線を避け、新立橋の方向を延長し北方に向ひ、築山町、此花町、南持田町、御室町鮎屋町を經由する新路線を選び、

起點より約483米の附近に於て左曲し以て鮎屋町地内に到らしめ、於茲綠地帯を設け左右道路との完全なる取付をなせるものなり。

(ハ) 工事延長 757米

内 道路延長 749.2米

橋梁延長 7.8米

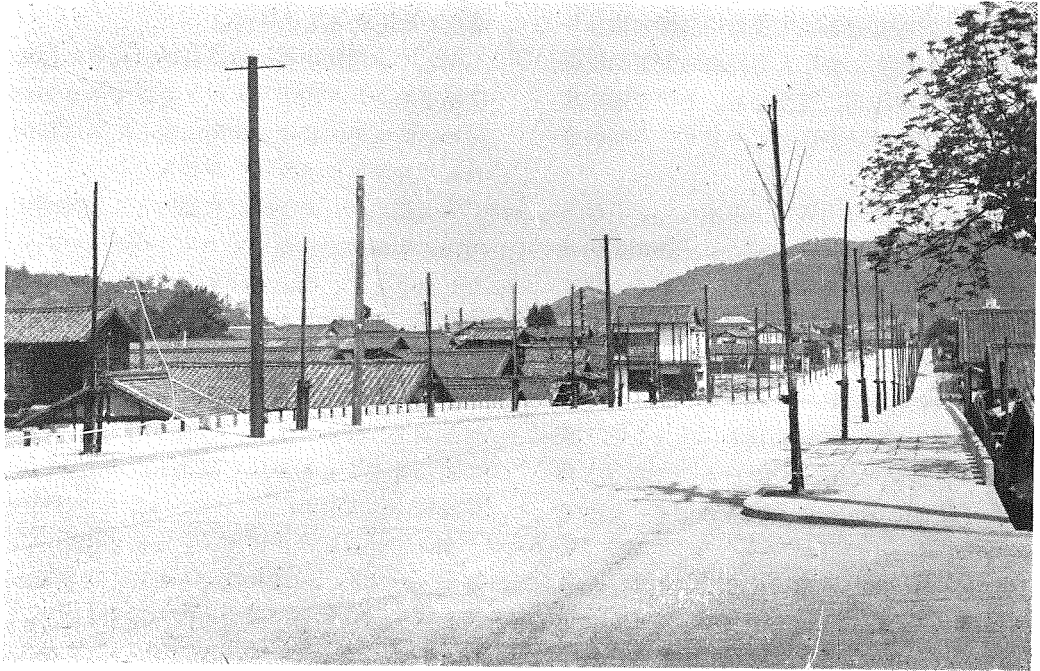
(ニ) 道路

幅員 15米とし、歩車道を區分し、車道10米、歩道各々2.5米とす。

路面 車道は横斷勾配2%拋物線形、厚20糎、二層式(上層厚5糎、配合1:1.5:3、下層厚15糎、配合1:3:6)

(14) 工事中の松山市内道路、起點より築山町地内を望む。





(15) 竣工せる松山市内道路、起點より塚山町地内を望む。

セメント混凝土舗装、歩道は勾配1:60、厚6 厘混凝土ブロック舗装とす。

施設 街渠並に側溝を設け、街渠には鉄筋混凝土縦断排水管を埋設し、約20米毎に雨水柵を設け以て既設水路に排水せしめ、歩道には約10米毎に街路樹ユリノ木を植栽せり。又終點は四通道路の交叉點をなすを以て交通の安全を期する爲、面積約140 平米の綠地帯を設け中央に照明燈柱一臺、及三方に危險標識反射鏡を施設し、外周には花崗石柱及鎖を以て柵を廻らし内部には芝を植付け且ツ、ジ、ツゲ30株を適當に配置植栽せり。

(ホ)橋 梁

橋梁は二ヶ所にして何れも既設市道横断用の陸橋にして橋長は何れも3.9米、鐵筋混凝土床版橋とす。

(2) 工事施工

本工事は昭和11年6月11日着手し同12年5月20日を以て竣工せるものなり。本工事區間は起點より終點に到る迄、全線、密集市街地を新に縦貫する新設路線なるが故に延長に比し、所要土地買収面積3,436坪8合、支障建物89棟、其建坪1,598坪7合5勺に及び、之が買収事務の緩急は延て工事進捗に重大關係を有するを以て先づ以て之に全力を傾倒し、一方此間工事進捗に支障なからしむる爲、別途に石手川堤塘上に於て道路工所用各種製作物即ち側溝用コンクリート蓋板、歩道舗装用コンクリートブロック及街渠用ブロック等の製作に11年6月11日着手し10月中旬迄經續し終了せしめたり。

而して一面用地事務は7月17日協議を開始し11月初旬支障物件略々移轉終了に到れるを以て全力を本工事に集中し本格的工事を開始せり。

各工事に使用すべき、砂、砂利、栗石は凡

て10年度同様直營を以て重信川筋浮穴村高弁地先及森松地先に於て人力採取の上貨物自動車により所要現場に運搬せり。その運搬距離は片道6.9軒—8.6軒にして一日6—8回往復せるものなり。

尙盛上用土砂は附近に土取場なく、且改良路線は何れも新線にして而も盛土後相當の期間なくして鋪裝を施工せざるを得ざるを以て之が土質に關しては慎重吟味の結果凡て重信川河原に於て石交り良質の土砂を採取し貨物自動車により運搬路床を形成し、尙、在來地盤の表土を掘起して路面仕上に表土として使用し、8 吨及 6.5 吨ローラーを以て輾壓し強固なる路盤を構成せしめたる後混凝土鋪裝を行へり。

鋪裝は厚20 釐、二層式同時打とし混合、水セメント比には特に注意を拂ひ、鋪裝に當りてはハンドローラー、タンパー等により十分搗固めを行ひ以て緻密にして強固なる混凝土を得る様入念に施工し表面はゴムベルト仕上とし筵を以て之を覆ひ適時撒水して十分なる

養生をなしたるものとす。

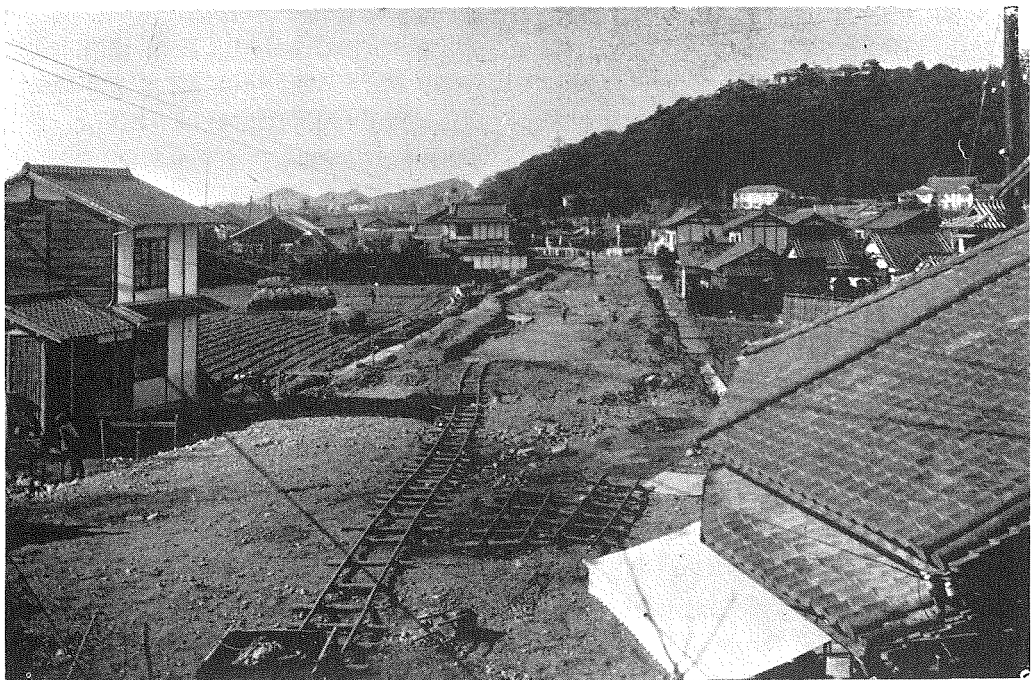
而して車道は中央に縦斷目地、長8 米毎に横斷目地を2.6 米のフェイスを以て千鳥形に設け、尙街渠に接する個所に對しても同様何れも10 耗厚エラストイトを挿入せり。

尙街渠用ブロックは直線部にして比較的走行車の衝撃少なきを以て1:2:4 混凝土ブロックとし、而して屈曲破損され易き歩車道境界石のみは之を花崗石として經費の節約を計りたり。

又起點より約80 米の區間は石手川堤防に取付關係上、盛土高高く、路側は平均高3.0 米の石積擁壁とせるを以て交通上危険防止の爲防護壁を設置せり。

而して該區間は市街地にして將來道路兩側を地上げの上、家屋建設せらるることあるべきを以て其際簡易に撤去し得る構造とせり。即長50 釐、高25 釐、厚10 釐の混凝土ブロックを作り之を純間隔40 釐を以て側溝の外側壁上に並立せしむるものとし之が取付には長30 釐、徑5 耗のボルト2 本を約半分側溝

(16) 工事中の松山市内道路、此花町より終點を望む。



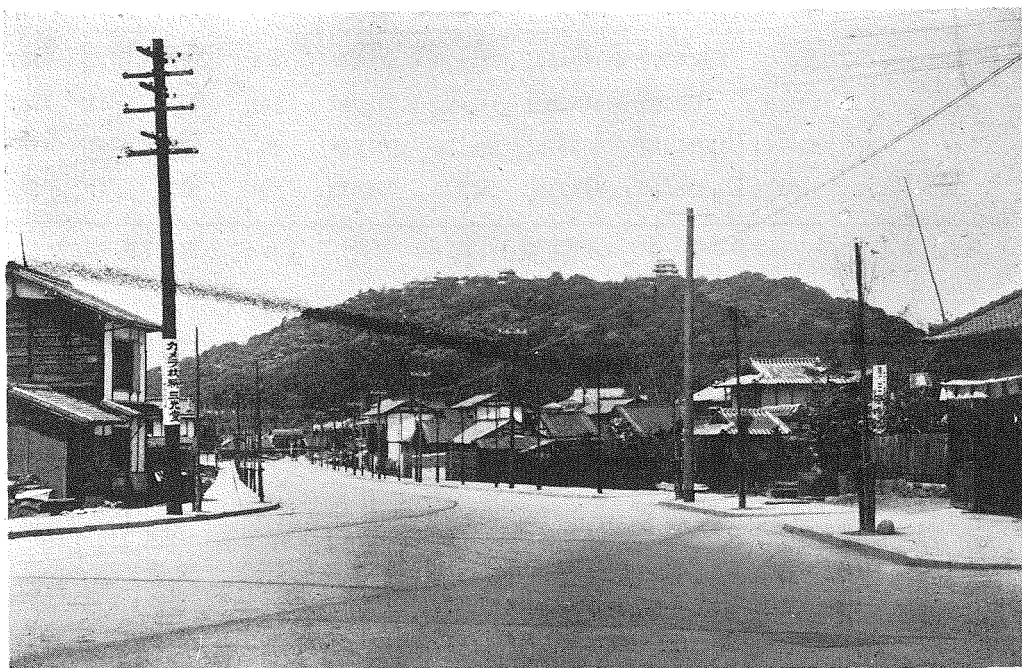
壁に埋込み之に豫め防護ブロック下端に穿孔
しおきて之をボルトに差込み周囲をモルタルを以て取付けたるものなり。

(3) 竣功工費

(a) 工事費總括

	竣功高	1 杆 當	備 考
事業費計	180,000.052	237.800	總延長 757米
内 譯	工 事 費	50,952.042	67.300
	土 地 買 收 費	58,137.920	76.800
	物 件 移 轉 其 他 補 償 費	36,692.410	48.500
	器 具 機 械 費	21,390.030	
	共 濟 組 合 給 與 金	375.540	
	雜 費	12,452.110	

(17) 竣功せる松山市内道路、此花町より終點を望む。





(18) 工事施行前の終點附近道路、松山市内。

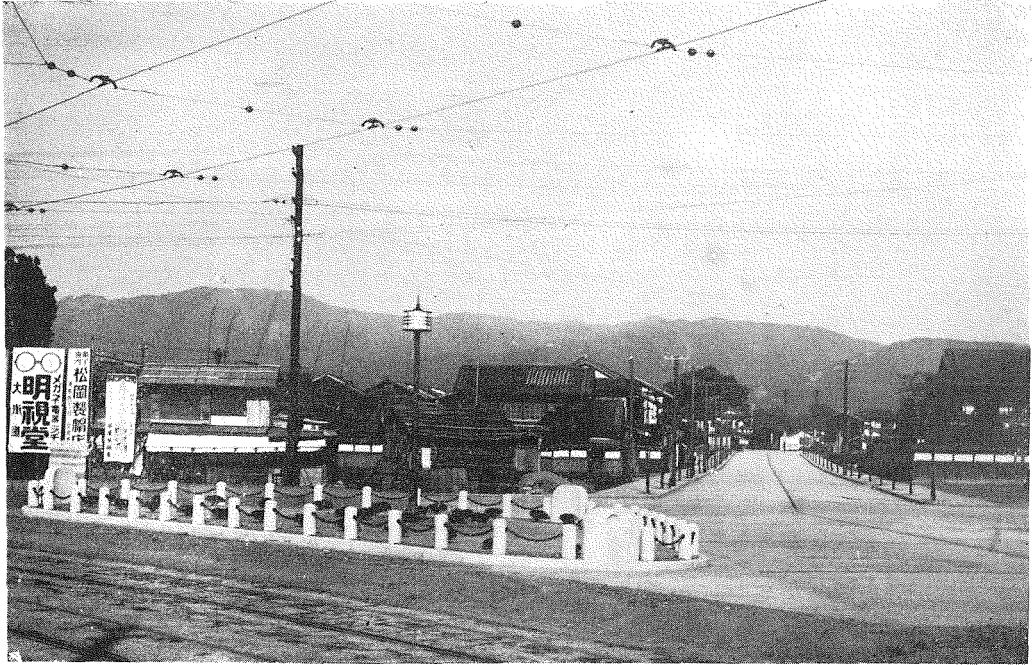
(b) 砂利類直營採取精算額

	竣 功 精 算 額					1 立 米 當			
	數 量	採 取 費	運 搬 費	其 他	計	採 取	運 搬	其 他	計
合 計	4,235.2	2,026,030	4,119,420	529,470	6,674,920	478	973	125	1,576
砂	1,274.9	646,230	1,213,690	141,920	2,001,840	507	952	111	1,570
砂 利	2,467.6	1,251,120	2,453,600	299,730	4,004,450	507	994	121	1,623
栗 石	492.7	128,680	452,130	87,820	668,630	261	918	178	1,357

備考 其他は準備工費設備工費を示す。運搬距離、片道6.9—8.6軒にしてすべて貨物自動車により一日6—8回往復せるものとす。

(c) 工事費竣功精算高

費 目	工 種	細 目	名 稱	單 位	竣 功 高			備 考
					數 量	金 額	單 位 當	
工事費	道路	路 床 擁 壁 路 面	盛 土 石 積 擁 壁 車 道 混 凝 土 鋪 裝 步 道 鋪 裝	米	757	50,952,042	67,307	總延長 757米 道路延長 749.2米
				米	749.2	47,695,100	63,661	
				立米	5,800	6,757,504	1,165	
				平米	460.1	2,358,152	5,125	
				〃	7,834.9	17,174,221	2,192	
			〃	2,174.9	2,931,803	1,348		



(19) 竣工せる終點取付道路附近、松山市内。

費目	工種	細目	名稱	單位	竣 功 高			備 考
					數 量	金 額	單位當	
			街 渠	米	1.1699	2,695,181	2,303	
			步 車 道 境 界 石	〃	2145	816,209	3,805	
			取 付 道 路 其 他 境 界 石	〃	168	411,017	2,446	
		溝 橋	暗 渠	ヶ所	4	1,829,238	457,300	
			排 水 管	〃	12	517,038	43,086	
		側 溝	有 蓋 側 溝	米	1,320.7	3,790,646	2,870	
		排 水 渠	雨 水 樹	ヶ所	68	636,011	9,353	
			縱 斷 排 水 管	米	1,302.6	4,139,253	3,170	
		雜 工 事	並 木	ヶ所	136	876,314	6,443	
			村 道 其 他 取 付	〃	5	2,739,504	547,900	
			防 護 壁	米	86.7	33,009	381	
				米	7.8	3,256,942	417,550	橋梁延長7.8米
		第一號橋		平米	58.5	1,793,760	30,660	橋長3.9米 橋巾15米
			橋 臺	基	2	1,226,875	613,437	
			橋 體	徑間	1	566,885	566,885	
		第二號橋		平米	58.5	1,463,182	25,011	橋長3.9米 橋巾15米
			橋 臺	基	2	887,784	443,892	
			橋 體	徑間	1	575,398	575,398	